

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・アニマートすがも				公表日	令和8年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容によって、テーブルや椅子を片付け、スペースを確保している。	広い空間を利用し引き続き工夫して活動をお粉参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令の基準を満たしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		イラストで掲示しております。玄関からの入り口は段差がありますが、必要に応じて職員が補助に入ります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日、清掃、環境設定を行っております。	感染症の広がりが見られた場合は、事業所内消毒、換気に努めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		状況に応じて環境設定をおこなっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			毎朝の療育打ち合わせで話し合いあいの場を設けております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回、保護者様アンケートを実施し、様々な意見を聞き改善に努めて参ります。	保護者様からのご意見や評価表結果に真摯に向き合い、職員間で情報を共有し業務改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所の自己評価を全職員で共有し、改善に向けた話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		現状、第三者の評価は受けておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		会社主体で、管理者研修、児童指導員研修が毎年行われている。	児童指導員研修、管理者研修が毎年行われ、研修を受けた職員が職員会議で職員たちに周知して業務に努めて参ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		今年度から支援プログラムを作成し公表している。	ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		6か月に1度モニタリングを行い計画の更新をしております。	相談支援事業所と連携を取り情報を共有しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員会議等で日々の情報を共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎月支援会議を行い情報共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			毎日、職員がお子さんの様子や活動を記録している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿って5領域を踏まえた支援を作成している。	ねらいや支援内容を職員間で共有し、一人ひとりに応じた支援を心がけております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		主に主指導が作成し、職員間で内容や進め方を確認している。	何度も話し合いをおこなっております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		内容に隔たりがないように職員間で会議を行い、活動プログラムを作成しております。	季節の行事などに触れ、内容が固定せず楽しめるよう工夫してまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		長期休みには十分な時間が確保できるので、個別に時間をかけられる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝、職員全体でその日の流れや活動内容、支援の方法等ミーティングでおこなっている。	個々の課題を共有し担当、役割を決め支援に生かしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	翌朝に職員全員で振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録をつけている。会議で情報共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に行い、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		様々な遊びや体験を取り入れ、楽しく学び経験し身につくことができるよう支援して参ります。	成功体験を積み自己肯定感を育むことができるよう支援してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		写真や絵カード、マカトンを使用し、視覚的支援を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議が行われる場合は、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要時に応じて体制は整っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校のお迎えで先生より申し送りを伺い、情報を共有しながら支援に努めます。	下校時間や行事予定は基本保護者様からの情報提供ですが、必要に応じて学校との連携を図ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	相談支援事業所と情報を共有している。	相談支援事業所と連携を取り情報を共有しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	相談支援事業所と情報を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	機会があれば研修を受けたい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	保護者様が望んでいないので慎重に考えないといけない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	事業所連絡会に参加している。	事業所内で情報提供している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			日々、連絡帳やご自宅お送り時に情報共有7している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の時に背う説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談を行うときに保護者様の意向意思を聞き、それに沿った支援内容を決めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画書を示し説明し、同意を得てサインをいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時やお電話で相談があった場合は速やかに対応しております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			保護者会に参加した保護者から好評の意見がありましたので年に1回では定期開催できるように検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		主に管理者が窓口となっております。	苦情連絡があった際には迅速な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		アニメート通信を月1回配布、お誕生日カードには日頃の過ごしている写真を添付してお子さまの様子をお伝えしている	長期休暇の際は写真を多く掲載している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			買い物学習、社会性を養うための店舗での食事マナーを体験する機会をつくっていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		職員間では、感染症、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルを使用し研修を行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		月3回、地震、火災、水害想定避難訓練を行っている。	紙芝居で説明を行っている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			契約時やモニタリングの時に、保護者様に確認をして対応を伺い、職員と情報共有し対応マニュアルを作成している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		薬情を提出していただいて職員間で共通認識をしており	個人ファイルの表の見えるところにも赤で記入している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーのあるお子様には「禁忌」と表示し職員に周知している	個人ファイルの表の見えるところにも赤で記入している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		今年度マニュアルの整備を行いました。	必要な研修に参加するなど安全管理を徹底して参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			アニメート通信にも掲載し周知頂けるように発信して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		小さなことでも報告書をまとめ再発防止の話し合いをし情報共有をし対応しております。	同じことを繰り返さず大きな事故につながりかねないため努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年2回の虐待防止委員会を行い、事業所内でも3か月に1回チェックリストを行い集計をとり話し合いをしております。	今後も、虐待防止、権利擁護に知手読み合わせ、事例検討を定期的に行って参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	虐待防止委員会を中心に研修会の参加や伝達研修による周知を行って参ります。	必要に応じて保護者様と面接を行い、個別新計画書に反映し、説明をして同意をいただきます。	